

議員定数と議会改革について(議員定数)

No	議員名	定数(人)	理由
1	野口 義光	15	14名になるのは、反対というものではないが、現況、削減してまた増員は不可能に近い、2名以上の削減をしますます議員負担を強いていけば、自営業等されている若手が、今後立候補することが困難になっていくのではと思う。人口減はますます進む可能性が高い中、議会改革をさらなる模索の努力をしたのちと考える。
2	野北 悟	15	5町と納所地区併せて6地区から最低1名の議員が出れる体制。 議員に立候補するものはある程度の勝算がないと手を上げない。その場合、地域の後押しは重要な課題となり、むやみに定数を削減した場合、規模の小さい行政区に住まう者は手を挙げにくくなる。 2委員会体制での運用が決まっており、1委員会のの構成人数は8～7名が望ましいこと。 (欠員が出た場合のことも考慮) 今後の議会のあり方を考えるにあたり、議長は審議を行う委員として特定の委員会に所属するのではなく、その時々が必要と思われる委員会に出席し、審議の進め方や課題となる問題点などについて助言を行えるようにすることが望ましいと考える。
3	中島 慶子	15	8会場の意見としては、2減や大幅に10人削減といった意見や、削減は必ずしも良しでないとの意見もあった。現状で、議員力をつけてという意見も出ました。 議会が議員力を向上させ、市民が望む議員活動によって、市民の安心のまちづくりに議員一人ひとりが努めていく。立候補しやすい議会環境の整備に努め、人口減が更に進んだ時点で、その体制や議会構成を考えていけば良いのでは。 人口減で市職員の削減はありません。そのように仕事量そのものが増えている現状については、議員も変わらないと考えます。
4	服部 奈津美	15	元々定数削減には反対です。減らしても立候補者がいなければ悪循環になると思うからです。 しかし、無投票だったということや、住民の声を聞き、一名減でという判断です。
5	國信 好永	15	議会特別委員会の決定のとおり。2人減の14人でも良いかな・・・と思うが。

議員定数と議会改革について(議員定数)

No	議員名	定数(人)	理由
6	田中 英行	14	議長を除くと13名で、採決をした時に最終6対7で終わるので、同数にはならないから。
7	飯守 康洋	15	自然・風土・歴史・福祉・教育・工業等、各自治体を取り巻く環境はそれぞれに異なる。各自治体、均衡のとれた発展があるべき姿だ。 単純に数の力で判断すべきではない。 現実、今の多久市民への公正・透明・信頼等の感情を鑑み、一人減とする。
8	樺島 永二郎	15	一部の方達が言うように2名減3名減4名減を行うと、17課47係他がある行政への監視機能、市民の声を吸い上げ届けるパイプ役として果たして行けるのかが疑問。 また、削減を検討した理由が、立候補者が定数と同数で選挙が行われなかったことが原因であり、今回、複数を削減することにより議員になる事へのハードルが高くなると、なおさら立候補をしようと思う方が少なくなると思う為です。
9	香月 正則	14	議員定数については現状の16名が望ましいと考えるが、議員への立候補者が全国的にも少なくなっている事も鑑み2名の減とする。 ※この2名減を提案するが処遇改善を合わせて検討願いたい。
10	中島 國孝	14	市民の声を聴くと、14名が多く感じられた。議決時も良いと思う。14名でも常任委員会が成立する。
11	田淵 厚	15	定数を減らせば多久市が良くなるなら賛成だが、他の視察先で定数減らした市町で聞くと後悔している、忙しくて大変とある。今回のタクアの件でも、議員はある程度いないと心配。また、減らして市民の声や地域の声が届きにくくなるのが心配。地区によって、少ない人口地区で議員出馬要請はお願いしづらい。
12	角田 一彦	14	議会運営は、できれば偶数の方がよいのでは。委員会に置いて割り切れると思います。多久市の人口減も考慮すると14名の構成でもよいのでは。

議員定数と議会改革について(議員定数)

No	議員名	定数(人)	理由
13	古賀 公彦	14	人口減少により区長会の意見書もあり他市町の多くが定数減であるため。
14	平間 智治	14	(1)減らしすぎても、それぞれの地域の声を吸い上げる最低限の議員が必要という前提のもとに、答申書の資料⑥において、 人口比率が定数15の場合、納所0.7人、西多久0.8人と不均衡 人口比率が定数14の場合、納所0.7人、西多久0.7人と均衡している (2)議会での一般質問・議案質疑などをする割合が少ない。質問の内容が物足りないので減らすべきなどの市民の声もあるので
15	牛島 和廣	14	人口減に伴って
16	山本 茂雄	15	多久市においては、議員削減について早期より取り組んできた。人口が減ったからといって執行部の課の数が減るわけではない。本来なら現状のままでと思っているが、地域性、民意をより吸収することから削減するなら1名減とする。